

平取町地域公共交通総合連携計画

平成 22 年 3 月

平取町

この計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第6条に基づいて設置された平取町地域公共交通活性化協議会における協議を経て、同法第5条による地域公共交通総合連携計画として平取町が作成したものである。

目 次

1. 地域公共交通の活性化及び再生の総合的かつ一体的な推進に関する基本的な方針	1
1.1 現状の課題	1
1.2 平取町地域公共交通総合連携計画における基本的な方針	9
2. 計画の区域	10
3. 計画の目標	11
4. 目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項	12
4.1 公共交通改善策	13
4.2 地域活性化策	16
4.3 利用促進策	17
5. 計画期間	18
6. その他計画の実施に関し市町村が必要と認める事項	19

1. 地域公共交通の活性化及び再生の総合的かつ一体的な推進に関する基本的な方針

1.1 現状の課題

1.1.1 平取町の現状

(1) 地勢・人口

平取町は北海道日高地方の西端に位置し、総面積 743.16 km²、人口 5,729 人（平成 22 年 1 月末住民基本台帳）の過疎地域であり、年々減少を続けている。また、東西 52.8 km、南北 41.1 km と広大な面積を有し、集落や人家が点在している。



図 1-1 平取町位置図

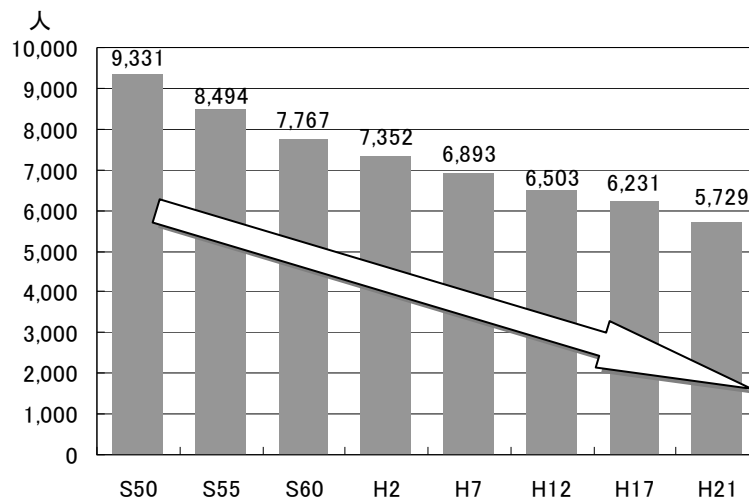


図 1-2 平取町の人口推移

(2) 公共交通

町内の公共交通は主に路線バスであるが、路線バスがない地域では自家用有償旅客運送登録による町営バスが、3路線で運行を行っている。その他、小中学生の通学用スクールバスを運行させている。

なお、公共交通以外では、ハイヤー及び国保病院通院のための送迎車等が存在する。

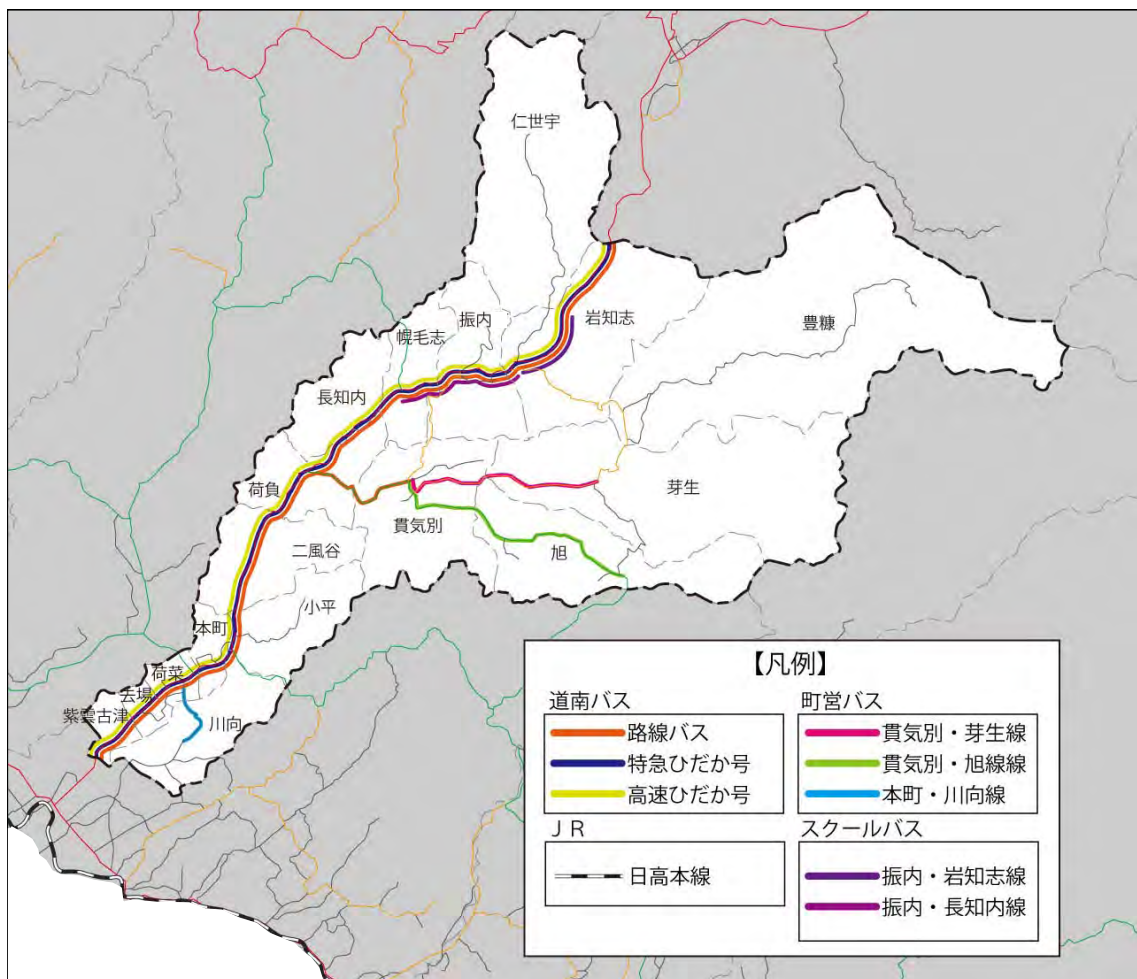


図 1-3 公共交通の現状

1.1.2 公共交通の課題

交通実態調査及び利用者ニーズ把握調査にて把握した主な課題は以下のとおり。また、次ページに公共交通の課題（まとめ）、次ページ以降に圏域別の課題抽出結果を示す。

- ・ 高齢者等において自宅からバス停が遠く、バス利用困難な方がいる
- ・ バス乗車率が低く、効率性が悪い
- ・ 利用者ニーズに応じたダイヤ設定になっていない
- ・ 路線バスと町営バスの乗継ぎが悪い

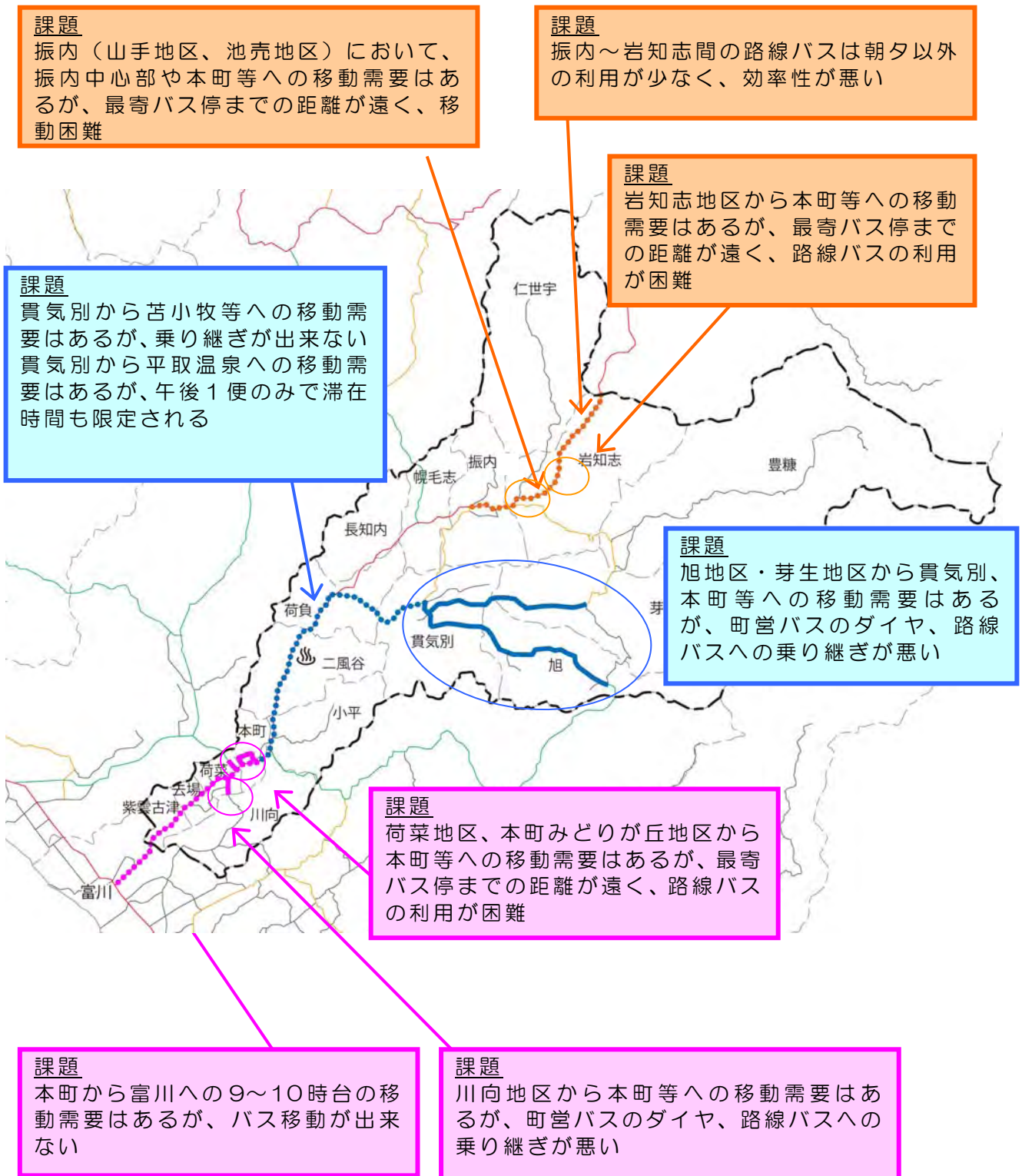


図 1-4 公共交通の課題（まとめ）

表 1-1 本町圏の課題整理結果

項目		本町圏			
		ダイヤ時間帯	ルート・バス停	乗継ぎ	車両
現況交通実態	路線バス（紫雲古津～本町）	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 平日 21 便、休日 15 便 ▶ バス空白時間 9～13 時（本町→富川） 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ルートは R237 ▶ バスルートから遠い集落が存在（紫雲古津、去場、荷菜、本町） 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 本町での町営バスとの乗継ぎ時刻の連携なし 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 42 人乗り
		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 紫雲古津～本町間、朝の通学利用が中心 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 区間利用者数は本町～荷負と比較して少ない 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 区間乗車率が低い
	町営バス（本町～荷負）	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 平日 23 便、休日 15 便 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ルートは R237 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 本町での町営バスとの乗継ぎ時刻の連携なし 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 42 人乗り
		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 朝夕の利用が中心 ▶ 昼間の乗車率低い 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 全区間の中で最も利用者が多い 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 全区間の中で最も乗車率が高い
	町営バス（川向地区）	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 平日 5 便、休日 予約制 ▶ バス空白時間 8～14 時 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ルートは町道 ▶ 路線バスのバス停が遠い ▶ 自由乗降 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 本町での路線バスとの乗継ぎ時刻の連携なし 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 42 人乗り
		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 朝、小中学生 12 人乗車 ▶ 他の時間帯は乗車率低い 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 乗車人数 14 人/日 ▶ 一般の方の利用なし 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 平均乗車人数 2.8 人/台
利用者ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 出発は 7～10 時台に集中 ▶ 本町圏から富川、苦小牧など町外への移動あり ▶ 8～10 時台に川向から本町への移動あり 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 圏域内の約 3 割の方がバス停までの所要時間 10 分以上 ▶ 川向は最寄バス停まで 20 分以上 ▶ 去場、荷菜は移動への不満が高い ▶ 本町みどりが丘地区の方からバス停までの距離が遠いという意見が複数あり 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 川向～富川、苦小牧への移動あり 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ バス小型化への要望意見あり 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 9～10 時台に本町圏から富川への移動はあるが、バス移動が出来ない ▶ 8～10 時台に川向から本町への移動はあるが、バス移動が出来ない ▶ 昼間の乗車率が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 荷菜、本町みどりが丘地区は本町への移動はあるが、最寄バス停までの距離が遠く、路線バスの利用が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 川向から富川、苦小牧への移動はあるが、町営バス（川向）から路線バスへの乗り換え時に待ち時間が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 路線バス（紫雲古津～本町）、町営バスの乗車率が低く、効率性が悪い 	

表 1-2 貫気別圏の課題整理結果

項目		貫気別圏				
		ダイヤ時間帯	ルート・バス停	乗継ぎ	車両	その他
現況交通実態	路線バス（荷負く貫気別）	<ul style="list-style-type: none"> 平日 11 便、休日 2 便 バス空白時間 9～13 時（荷負→貫気別） 9～14 時（貫気別→荷負） 貫気別から平取温泉行きは午後 1 便のみ 他区間と比較して、区間利用者数が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ルートは(主)平取静内線 本町～貫気別間運行 他区間と比較して、区間利用者数が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 荷負での都市間バスとの乗継ぎ時刻の連携なし 貫気別での町営バスとの乗継ぎ時刻の連携なし 	<ul style="list-style-type: none"> 42 人乗り 区間乗車率が低い 	—
		町営バス（旭地区）	<ul style="list-style-type: none"> 平日 6 便、休日：予約制 バス空白時間 8～13 時（貫気別□旭） 小中学生の利用が中心 朝登校し、午後帰宅の際に利用 	<ul style="list-style-type: none"> ルートは(主)平取静内線 自由乗降 乗車人数 18 人/日 一般利用者は 1 人 	<ul style="list-style-type: none"> 貫気別での路線バスとの乗継ぎ時刻の連携なし 	<ul style="list-style-type: none"> 42 人乗り 平均乗車人数 3.0 人/台
	町営バス（芽生地区）		<ul style="list-style-type: none"> 平日 6 便、休日：予約制 バス空白時間 8～14 時（貫気別□芽生） 小中学生の利用が中心 朝登校し、午後帰宅の際に利用 	<ul style="list-style-type: none"> ルートは(一)芽生貫気別線 自由乗降 乗車人数 25 人/日 一般利用者は 2 人 	<ul style="list-style-type: none"> 貫気別での路線バスとの乗継ぎ時刻の連携なし 	<ul style="list-style-type: none"> 42 人乗り 平均乗車人数 4.2 人/台
		利用者ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 出発は 8～9 時台に集中 貫気別圏は貫気別への移動が最も多く、平取温泉への移動もある 	<ul style="list-style-type: none"> 圏域内の約 4 割の方がバス停までの所要時間 10 分以上 旭、豊糠は最寄バス停まで 20 分以上 平取温泉、札幌、本町への移動あり、バス利用率が 40% 以上と高い 	<ul style="list-style-type: none"> 本町、苫小牧、富川への移動あり 	<ul style="list-style-type: none"> 経費削減、バス小型化への要望あり
	課題		<ul style="list-style-type: none"> 旭、芽生から貫気別への移動はあるが、バス移動が出来ない 貫気別から平取温泉への移動はあるが、バスは午後 1 便しかなく、滞在時間が限定される 町営バスの利用者数が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> 貫気別圏から本町、苫小牧等への移動はあるが、都市間バスに乗り継げない 旭、芽生から本町等への移動はあるが、町営バスから路線バスへの乗り換え時に待ち時間が発生 	<ul style="list-style-type: none"> バス乗車率が低く、効率が悪い

表 1-3 振内圏の課題整理結果

項目		振内圏				
		ダイヤ時間帯	ルート・バス停	乗継ぎ	車両	その他
現況交通実態	路線バス（荷負く岩知志）	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 平日 8 便、休日 8 便 ▶ バス空白時間 6～13 時（振内→岩知志）、16～20 時（岩知志→振内） 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ルートは R237 	<ul style="list-style-type: none"> —（乗継ぎポイントなし） 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 42 人乗り 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 豊糠、仁世宇は公共交通空白地域 ▶ 長知内・岩知志にスクールバス運行中（住民利用不可）
		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 朝、日高方面から本町への利用が多い、朝夕の利用が中心 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 区間利用者数は他区間と比較して少ない 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 区間乗車率が低い 	
利用者ニーズ		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 振内から日高方面への移動はなし 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 岩知志、幌毛志は最寄バス停までの所要時間 20 分以上の割合が高い ▶ 岩知志の移動に対する満足度は低い ▶ 苫小牧、本町への移動が多い 	<ul style="list-style-type: none"> — 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 経費削減、バス小型化への要望意見あり 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 仁世宇からの回答なし ▶ アンケート以外から山手地区、池売地区の移動要望あり
課題		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 振内～岩知志は朝夕以外の利用が少なく、効率性が悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 岩知志から苫小牧、本町への移動はあるが、最寄バス停までの距離が遠く、移動に対する満足度も低い 	<ul style="list-style-type: none"> — 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ バス乗車率が低く、効率性が悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 山手地区、池売地区の移動需要はあるが、最寄バス停までの距離が遠く、路線バスの利用が困難

1.1.3 第5次平取町総合計画

第5次平取町総合計画（計画期間：平成18年～27年）における基本目標を以下に示す。公共交通に関係するものを赤下線にて示す。

基本構想

輝くびらとりのための基本目標（テーマ）

まちづくりの最終目標は「町民がしあわせを感じ暮らしたいけること」にあります。言い換えれば平取町に住む一人ひとりが安全で快適に、健康で豊かに、仲良く暮らしたいけるような町をつくることです。「まちづくり」とはこれを施策として実現していくことにほかありません。

めざすべきまちの将来像を実現するため次の5つの基本目標（テーマ）を掲げその実現を図っていきます。

1. 平取町の歴史風土や文化を愛する心豊かな人づくりをめざして

【教育・文化の推進】

平取町教育推進計画に基づき、他人や自然をおもいやる心と、ふるさとの歴史や文化を愛する心を育む教育を積極的に推進し、将来のまちを担う人材の育成に努め、さらに生活を豊かにする文化活動や伝統文化の保存伝承を推進する体制を整え、文化の香り高いまちづくりをめざします。

2. 生涯を通じ生きがいと元気にあふれるまちづくりをめざして

【保健・医療・介護・福祉の向上】

町民一人ひとりがお互いの個性や自立する心を尊重しながら、自立、互助、扶助のしくみを再確認するとともに、子どもからお年寄りまで安心していきいきと健康に暮らせるまちづくりをめざします。

3. 平取町の資源をいかし、生産の喜びと活力に満ちたまちづくりをめざして

【産業の振興】

育んだ「びらとりブランド」をさらに発展させ、農業、商業、工業等が機能的に結びつくことができるしくみづくりを確立するとともに、地元の資源を最大限に活用し、雇用の場の確保、創出をすすめる活力あるまちづくりをめざします。

4. 自然と共生し、快適で安全な暮らしづくりをめざして

【生活環境の向上】

人と自然が共生できる循環型・環境負荷低減型の地域の形成をめざすとともに、町民生活の安全性、利便性、快適性を高め暮らしやすいまちをつくりまします。

5. 人と人とのつながりを大切に、魅力的で個性あふれるまちづくりをめざして

【町民活動・行政活動の充実】

誰もが平等に参加の機会やまちの情報を手にでき、互いに助け合いながらまちづくりについて自ら考え、行動することのできる土壌（しくみ）を築き育てるとともに、平取町に住む私たち自身が平取町の将来を考え、より良い暮らしを実現することをめざまします。

図 1-5 平取町総合計画基本目標

施策の体系

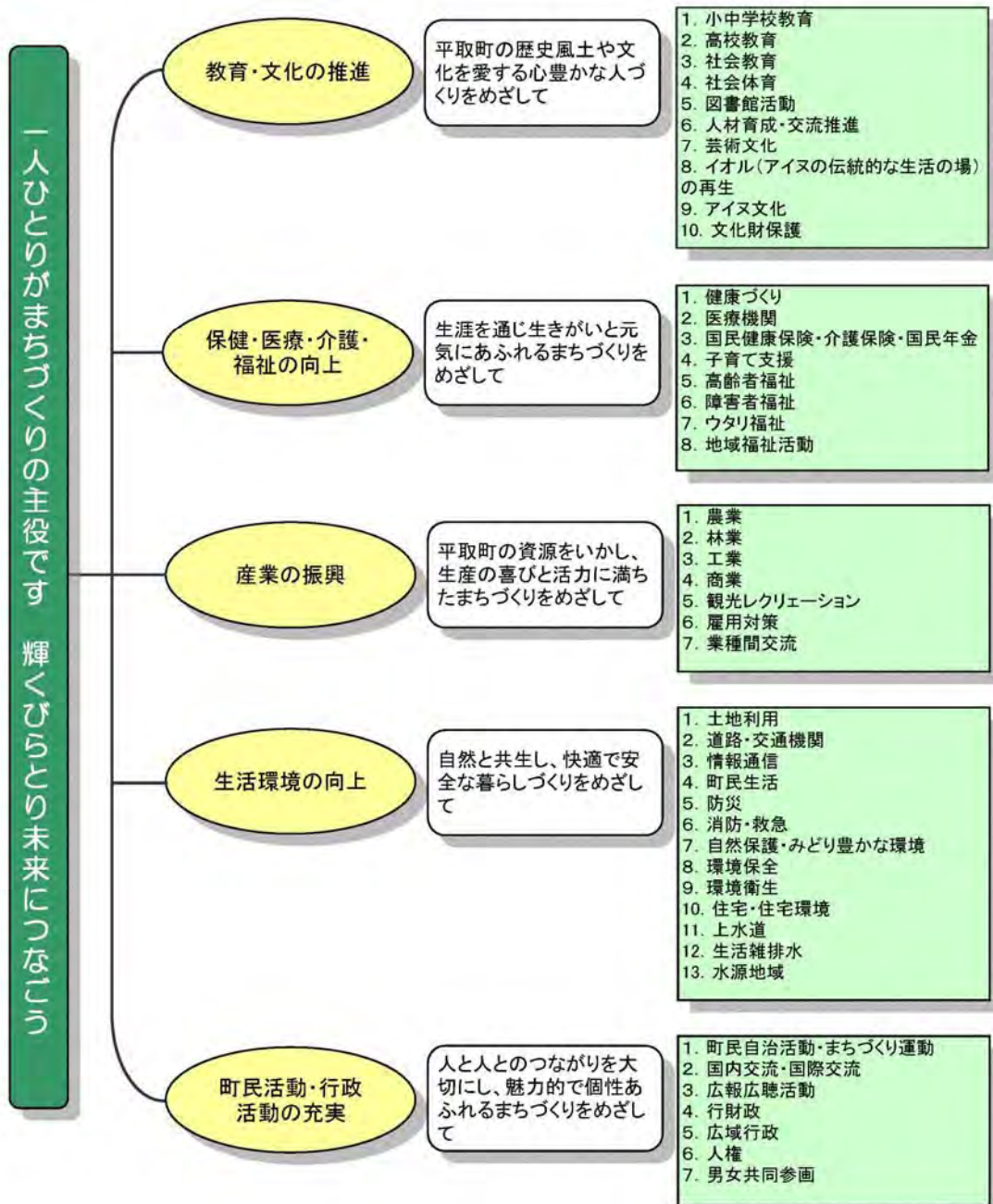


図 1-6 平取町総合計画基本目標と施策体系

1.2 平取町地域公共交通総合連携計画における基本的な方針

交通実態調査及び利用者ニーズ把握調査等により把握した課題、「第5次平取町総合計画」にて掲げる基本目標を踏まえ、平取町地域公共交通総合連携計画における基本的な方針を以下の通りに定める。

○ 平取町の現状

- ・ 広大な面積に集落が点在
- ・ 人口が減少傾向

○ 公共交通の課題

- ・ 高齢者等において自宅からバス停が遠く、バス利用困難な方がいる
- ・ バス乗車率が低く、効率性が悪い
- ・ 利用者ニーズに応じたダイヤ設定になっていない
- ・ 路線バスと町営バスの乗継ぎが悪い



○ 平取町総合計画基本目標

- ・ 生涯を通じ生きがいと元気にあふれるまちづくりをめざして
⇒ 子どもからお年寄りまで安心していきいきと健康に暮らせるまち
- ・ 自然と共生し、快適で安全な暮らしづくりをめざして
⇒ 町民生活の安全性、利便性、快適性を高め暮らしやすいまち
- ・ 人と人とのつながりを大切にし、魅力的で個性あふれるまちづくりをめざして
⇒ 平取町に住む私たち自身が平取町の将来を考え、より良い暮らしを実現する

○ 基本方針

- 高齢者等に配慮した公共交通体系の整備
- 路線バスと町営バスの効率的なバス事業の確立
- 平取町における地域活性化への貢献

2. 計画の区域

本計画の対象区域は、平取町をその区域とする。



図 2-1 平取町位置図

3. 計画の目標

「1. 地域公共交通の活性化及び再生の総合的かつ一体的な推進に関する基本的な方針」を踏まえ、以下の通り、計画の目標を策定した。

(1) 高齢者等の移動手段の確保

平取町はバス路線から離れた箇所に集落、人家が点在しており、バス利用困難な高齢者等が存在している。そのため、平取町における高齢者の移動満足度は、町民全体の移動満足度 72.2%※に対して、68.3%※に留まっている。

そこで、公共交通事業では、バス利用困難な地域に住む高齢者等に配慮した公共交通体系を整備し、高齢者等の利用満足度の向上を目指す。なお、H22 年度は、本町地区にて実証運行、振内地区にて試験運行を実施し、それら結果を踏まえ、他地区への展開について検討を行う。また、豊糠地区などの公共交通空白地域については、福祉運送事業を含め、住民の移動手段を検討する。

(2) バス運行の効率性の向上

路線バス、町営バス共に乗車率が低く（路線バス：平日 11.0%、休日 5.0%、町営バス：平日 5.0%）※、バスの効率性が悪いなどの課題がある。

そこで、利用者の少ない便、時間帯を減便・廃止するなど、需要に適した運行方式を導入することで、運行経費を維持しつつ、乗車率向上を目指す。その結果、バス運行の効率性向上を図る。

(3) 地域活性化の推進

平取町は、人口減少、少子高齢化により、地域経済の縮小等、まちの活力が低下するなどの課題を抱えている。

そこで、地域の公共交通を移動手段としてのみ捉えるのではなく、町中心部のにぎわいや町民の交流機会創出に向けて、関係機関と連携を図り、活性化ツールのひとつとして、公共交通を位置づける。

その結果、現状に対して、町中心部のにぎわい、町民の交流機会創出のさらなる向上を目指す。

※利用者ニーズ調査結果より【調査概要】

目的 : 平取町における町民の移動ニーズの把握を目的に実施

調査日 : H21.7.3（金）配布、提出期限 H21.7.21（火）（約 2 週間）

対象 : 町民 500 世帯（全 2,626 世帯中 500 世帯に配布）

回答数 : 191 世帯から回収（回収率 38.2%）、回答者数は 332 人で、全人口（H22.1 末時点 5,729 人）の 5.8%

4. 目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項

目標を達成するために行う事業と目標の対応を以下に示す。なお、各事業の着手時期等については、『5.計画期間』に詳述する。

表 4-1 事業と目標の対応

事業内容		高齢者の移動手段の確保	バス運行の効率性の向上	地域活性化の推進
公共交通改善策	デマンドバス導入(新規路線)	○	○	
	既存バスの見直し		○	
	車両購入	○	○	
地域活性化策	商工会、平取温泉と連携した地域活性化事業の実施			○
	バス結節点にて、既存施設を有効活用した、地域振興促進策の実施			○
利用促進策	利用促進パンフレット、チラシ、ポスター等による情報発信、住民意見交換会等の実施	○	○	

4.1 公共交通改善策

(1) デマンドバス導入（新規路線）

実施主体

- ・ 平取町、交通事業者

事業時期

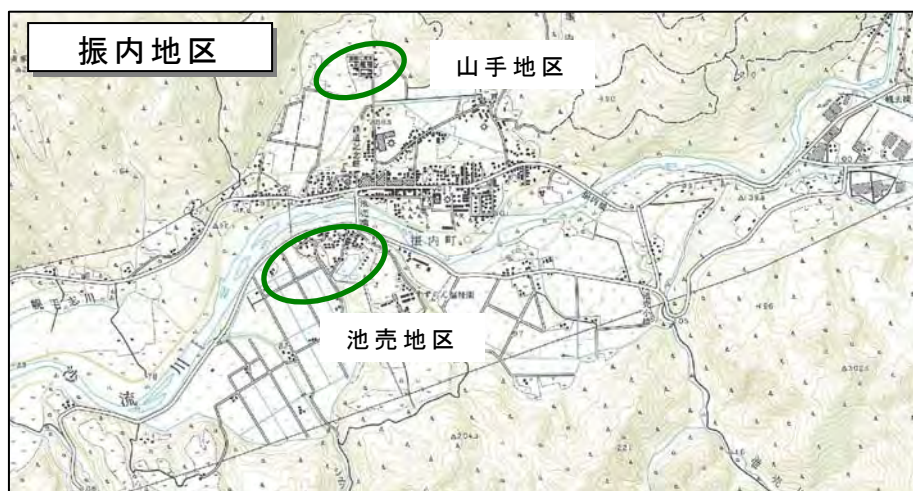
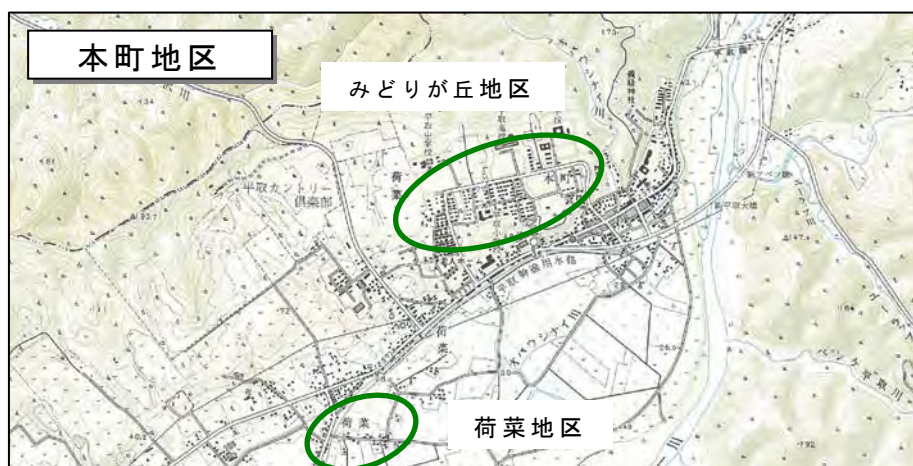
- ・ 平成 21 年度 試験運行（本町地区）
- ・ 平成 22 年度 実証運行（本町地区）、試験運行実施（振内地区）
- ・ 平成 23 年度 本格運行（本町地区）、実証運行（振内地区）
- ・ 平成 24 年度 本格運行（振内地区）

対象地区

- ・ 本町地区（荷菜、みどりが丘地区）、振内地区（山手、池売地区）

内容

- ・ 路線バス利用困難な地域の方を対象にバス停等までの移動手段を確保



(2) 既存バスの見直し

実施主体

- ・ 平取町、道南バス(株)、平取町教育委員会

事業時期

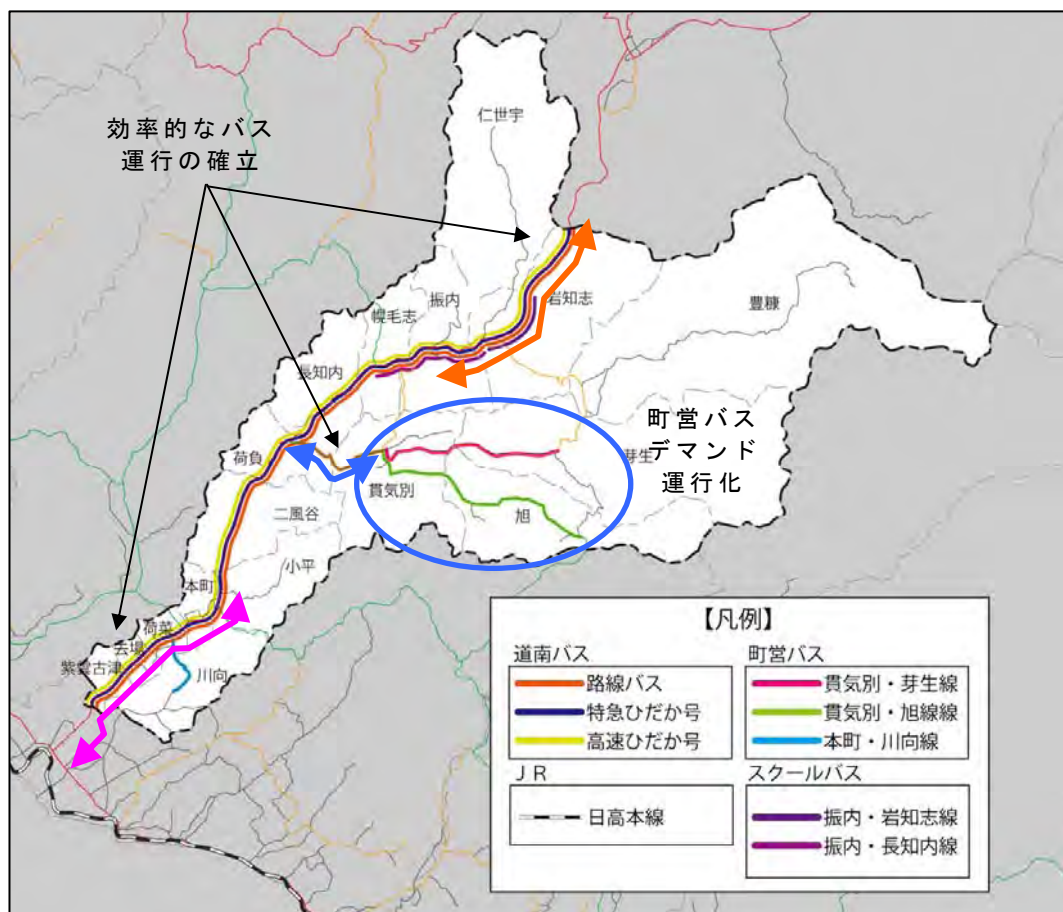
- ・ 平成 22 年度：関係機関協議（平取町、道南バス(株)、平取町教育委員会、交通事業者、日高町）
- ・ 平成 23 年度：試験運行
- ・ 平成 24 年度：実証運行
- ・ 平成 25 年度：本格運行

対象地区

- ・ 平取町全域

内容

- ・ 町営バスをデマンド運行化（旭、芽生地区）
- ・ 非効率な路線バスを見直し、効率的なバス運行の確立



(3) 車両購入

実施主体

- ・ 平取町

事業時期

- ・ 平成 23・24 年度：購入（本格運行に合わせて購入）

対象地区

- ・ 本町地区
- ・ 振内地区

内容

- ・ デマンドバス本格導入時に必要となる需要に適したサイズの車両を購入



図 4-1 車両イメージ

4.2 地域活性化策

(1) 商工会、平取温泉と連携した地域活性化事業の実施（クーポンの発行等）

実施主体

- ・平取町、平取町商工会、平取温泉

事業時期

- ・平成 22 年度：実施方法等に関する計画検討
- ・平成 23 年度：試験導入
- ・平成 24 年度：本格導入

対象地区

- ・平取町全域

内容

- ・商工会、平取温泉との連携により、バス利用者に対してクーポン等を発行し、中心部のにぎわい創出を図る。

(2) バス結節点にて、既存施設を有効活用した、地域振興促進策の実施

実施主体

- ・平取町、平取町商工会

事業時期

- ・平成 23 年度：実施方法等に関する計画検討
- ・平成 24 年度：整備・運用開始

対象地区

- ・本町（バスターミナル周辺）
- ・振内（バスターミナル周辺）

内容

- ・本町、振内のバスターミナル周辺にて既存施設を有効活用し、利用者の交流機会を創出する場を設置し、地域振興促進を図る

4.3 利用促進策

利用促進パンフレット、チラシ、ポスター等による情報発信、住民意見交換会等の実施

実施主体

- ・平取町

事業時期

- ・平成22年度：実証運行に合わせ、チラシ等作成、住民意見交換会等の開催
- ・平成23年度：本格運行に合わせ、チラシ等作成、住民意見交換会等の開催
- ・平成24年度：事業継続

対象地区

- ・平取町全域

内容

- ・利用促進パンフレット、チラシ、ポスター等による情報発信や住民意見交換会等の実施により、バスの利用促進を図る

「デマンドバス無料試験運行」のお知らせ

平取町地域公共交通活性化協議会は、平取町民の移動性・利便性向上、効率的なバス運行を目的に、地域公共交通総合連携計画を策定しています。

苺菜、みどりが丘地区は、自宅から路線バスのバス停等まで遠く、利便性の悪い方が多くいます。

そこで、苺菜、みどりが丘地区住民の生活の足を確保するため、「デマンドバス」を試験的に運行します。

デマンドバス
こちらの車両を使用します

デマンドバスって何?
利用者の「いつ・どこから・どこへ」移動したい、などの要望（デマンド）に応じてバスを運行させるシステムです。
要望がなければバスを運行しないため、とても効率的です。

試験運行の実施概要

運行期間：平成21年11月16日（月）～11月22日（日）
運賃：無料
主な利用者：苺菜、みどりが丘地区住民（通学利用者を除く）
利用方法：車両出発の1時間前までに、ご希望の便を電話予約し、バスをご利用ください。
※ただし、朝2便は、前日予約のみ

予約先：平取ハイヤー 電話 01457-2-3181
受付時間 午前7～午後7時

【運行主体】 平取町地域公共交通活性化協議会
【問い合わせ先】 平取町役場 町づくり振興課企画係 電話 01457-2-2222 FAX 01457-2-2277

デマンドバス無料試験運行 11月16日（月）～11月22日（日）

運行ルート

予約先
平取ハイヤー
電話 01457-2-3181
受付時間 午前7～午後7時

ご利用方法

- 電話で予約
平取ハイヤーに電話をかけ、利用日、ご希望の便など予約の申し込みを行います。
- 予約受付
平取ハイヤーが、予約内容を確認し、受け付けを行います。
- バス乗車
予約場所（運行ルート上）に到着したデマンドバスに乗り込んでください。
- バス降車
目的地に到着したら降車してください。

運行ダイヤ

主な通過ポイント	①	②	③	④	主な通過ポイント	⑤	⑥	⑦	⑧
苺菜大橋	7:10	8:20	10:45	12:55	平取国保病院	11:05	13:20	16:10	
苺菜バス停付近	7:12	8:22	10:47	12:57	平取バス停	11:07	13:22	16:12	18:10
苺菜緑葉台	7:16	8:26	10:51	13:01	みどりが丘団地	11:10	13:25	16:15	18:13
みどりが丘団地	7:20	8:30	10:55	13:05	苺菜緑葉台	11:14	13:29	16:19	18:17
平取バス停	7:23	8:33	10:58	13:08	苺菜バス停付近	11:18	13:33	16:23	18:21
平取国保病院	8:35	11:00	13:10		苺菜大橋	11:20	13:35	16:25	18:23

※①、②は、前日までの予約となります。③～⑧は車両出発時刻の1時間前までに予約してください。
※上記、運行ダイヤの時刻は、目安となります。乗車人数により、多少前後することがあります。

図 4-2 試験運行時使用チラシ

6. その他計画の実施に関し市町村が必要と認める事項

この計画に定める各事業については、平取町地域公共交通活性化協議会において連絡調整を行いつつ、実施するものとする。

なお、社会情勢の変化や町財政の状況等により、見直しが必要と認められる内容については、平取町地域公共交通活性化協議会に諮り、必要に応じて計画の見直しを行うものとする。